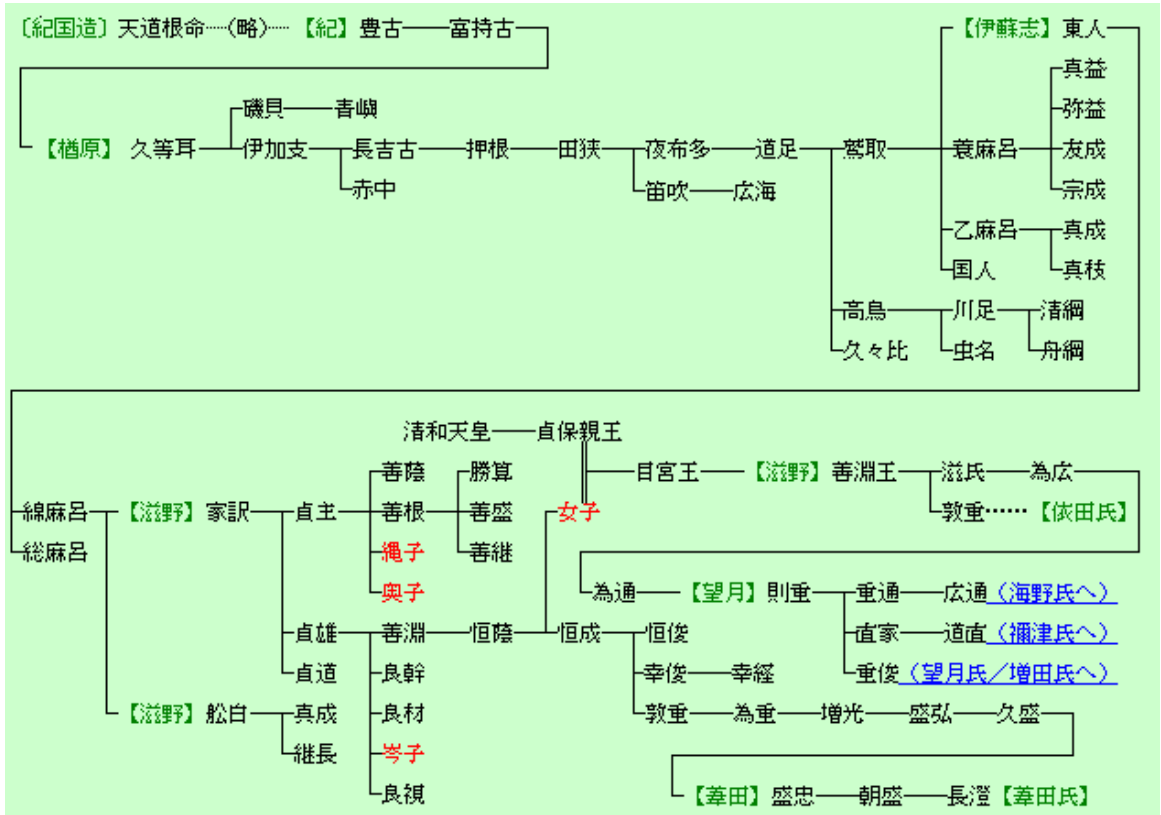


滋野氏系譜

東御市奈良原がもとで都へ出て、奈良・平安期に朝廷に仕えるようになり、滋野氏を名乗るようになったと云われている。滋野氏の子孫は、信濃国小県郡、佐久郡に栄えて、海野、望月、禰津の信濃滋野家御三家と依田氏、葦田氏等多くの名家を輩出した。真田氏は、関ヶ原の戦いに際して、兄弟が東西の両軍に別れて戦い、東軍に付いた嫡流の信之の家が大名家として明治まで残る。
(川端紅葉著 2025・12・26)



「滋野氏系譜」(姓氏類別大観)